

2 対策

(1) 目指すべき方向性

- 脳卒中の発症及び重症化予防に関する普及啓発や、特定健康診査の受診率の向上及び生活習慣改善の指導体制の充実を図ります。
- 発症後速やかに専門的治療を開始できるよう、デジタル技術を活用した医療機関の連携の構築など、救急、診断、治療体制の整備に取り組みます。
- 病期に応じたリハビリテーションが一貫して提供できる体制を強化します。
- 在宅等への復帰や日常生活の継続を支援するための多職種間の連携による支援体制の充実を図ります。
- 新興感染症の発生・まん延時における脳卒中患者の搬送体制を構築します。

(2) 数値目標

課題	指標の種別	指標名	圏域	計画策定時	目標値 (令和11年度)	
—	アウトカム 指標	脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)	全圏域	男性 87.0 女性 57.7 (令和2年)	男性: 68 以下 女性: 46 以下	
—		脳血管疾患による救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	全圏域	32.3分 (令和3年)	短縮	
—		脳血管疾患の退院患者平均在院日数	全圏域	70.4日 (令和2年)	短縮	
—		在宅等の生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	全圏域	53.8% (令和2年)	増加	
②	プロセス 指標	特定健康診査受診率	全圏域	57.5% (令和3年度)	70%以上	
②		特定保健指導実施率(終了率)	全圏域	31.1% (令和3年度)	45%以上	
③		脳梗塞に対する t-PA による血栓溶解療法の実施件数	全圏域	247件 (令和3年)	増加	
④			脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	全圏域	13,144件 (令和3年)	増加
⑤				脳卒中患者に対する療養・就労両立支援の実施件数	全圏域	0件 (令和3年)